

特定非営利活動法人わっか

# 2022年度 年次報告書

だれもがまるごと  
受けとめられる  
社会をつくる



NPO wacca

# Our vision

## だれもが、まるごと受けとめられる社会をつくる

わっかは、だれもが、まるごと受けとめられる社会を目指して活動を行う団体です。

### 子どもを取り巻く環境について

子どもたちは思うがままに過ごす時間や、まるごと受けとめられる経験が少なくなっています。いまの子どもたちは、自分では変えることができない社会環境や大人の意識の変化により「思うがまま」に過ごす時間や、まるごと受けとめられる経験が少なくなっています。大人の価値観による評価、他者との比較や数字で表せる結果で、子どもの存在を条件付きで認める場ばかりになり、さらには、地域社会においても、その子のまるごとを受けとめてくれる存在も少なくなっています。また、学校、学習塾、習い事、スポーツクラブで多忙な毎日を送り仲間も時間も空間もなくなりつつあります。

私たちは、まるごと受けとめられる場づくりをしたい、そんな思いで居場所づくり事業や出会いと学びを育む事業などを行っています。

## 事業一覧

1

### 居場所づくり事業

月よう・日よう・平日わっか、waccafe . . . 5 ~ 8

さかっこクラブ（放課後児童クラブ） . . . 9 ~ 10

2

### 出会いと学びを育む事業

若者とのかかわり . . . 11 ~ 12

講演会 視察 . . . 12

3

### その他

わっかへのご寄付 . . . 13



## わっかの目指す姿

だれもが、まるごと受け止められる社会を目指して、  
居場所づくり活動を中心として活動しています。

日々、わっかに集う人たちとすごす、  
なんでもない日常を何より大事にしています。

そんな中で、さまざまな声を聞くことがあります。

それは、その人の生きづらさの吐露であり、  
私たちはその声に寄り添いたいと、願っています。

わっかの活動はすべて、  
そんな小さな弱い、でも確かな声をきっかけに  
立ち上げてきたものばかりです。

いま、出会うあなたへ、私たちができることをやり続ける。

それが、わっかです。

# 月ようわっか

毎週月曜日 16:00 ~ 20:00

開けた回数 来た人 ※5月2週目で終了

6回 こども 27人 おとな 6人



月ようわっかは、当年度で一旦の区切りをつけた。のびとあすかが中心になって進めていたが、今は来る子ども達も数名程度しかいない。ピーク時は、一度に40人もの子ども達が押しかけてきたときもあった。しかし、のびとあすかが揃って常駐できなくなったり、コロナ禍で行動制限がかかるようになって、参加者は年々減少していった。

当時、小学生だった子ども達が中学生、高校生になっている。日々の生活が忙しいのだろう。今は、ほとんど会うこともなくなってしまった。それでも、時々、別の開いている日にひょっこり顔を見せてくれることもある。それで良いのではないかと思う。これまで「あってもなくもよい場」「意味があってもなくてもよい場」として場を開け続けてきた。来ていた子ども達にとって、大した意味もない、でも、確実にあった何気ない日常の一場面として存在した月ようわっかは、思い出の片隅に存在する程度で良いのだと思う。

もし、彼らの人生で、どこにも帰りにくい、行きにくいときに、ふと思い出して、また来てくれる場所として、これからも”わっか”として存在し続けたい。(文責:柳生のび)

# 日ようわっか

第2・4日曜日 10:00 ~ 15:00

開けた回数 来た人

22回 こども181人 おとな58人



5~6月にかけて、あたらしい子どもたちが来ました。その子たちは3ヶ月くらい来ていたのですが、だんだんと足が遠のきました。そして、3月ごろになると、また別の子ですが以前に来ていた子が来ました。いつもくる子どもたち、そこにときどき新しい子や久しぶりの子が来ます。

冬には、ホットカーペットを敷いていると、その上で、ごろごろとしています。これまでは、みんな走り回ったり、何かしら座ったり歩き回っていたのですが、ごろんとする姿も見えました。

ごろんとできるっていいなって思うんです。なかなか、自分ち以外でごろんとできる場所って少ないんじゃないでしょうか。子どもたちにとって、ごろんとできる場になっているのが嬉しいです。

(文責:だいのすけ)

# 平日わっか

火～木よう日 13:00 ～ 17:00

金よう日 16:00 ～ 20:00

開けた回数 来た人

127回 こども271人 おとな128人



コロナ禍以降、なかなか子どもたちがふらっと立ち寄りなくなったなと思っていました。玄関先では話をするのですが、中にまで入ってこないんです。それでも、そうやって下校時間のほんの少しの時間でも会話をしたり、目があうだけでもいいかなと思っています。そういうの積み重ねが、いつか来たいと思うことにつながると思っていました。そうしていると、3月頃に子どもたちが集うようになりました。

きっかけは何だったんでしょう。聞いたりしないので、よくわかりません。でも、なんでもない日々、それはここに集わない時間も含めてですが、そういうものは確実に子どもたちにとって何らかの意味はもっていたんだと思います。なんだかわからないけど、いつも挨拶してくる人がいるっていうのも大事なんだなと気づきました。(文責:だいのすけ)



月ようわっか・日ようわっか・平日わっか（WAM 助成を活用・お茶の間創造支援事業）

給与手当（古民家）	550,000 円
印刷製本費（チラシ印刷、年次報告書）	31,465 円
通信費（ネット利用料、郵送代、携帯使用料）	134,243 円
原材料費（こども食堂・個別対応）	344,413 円
光熱水費（古民家わっか・シェルターハウス）	184,052 円
家賃（古民家わっか）	360,000 円
手数料（古民家粗大ゴミ回収、振込手数料）	161,113 円
合 計	1,604,173 円

## わっかサロン wacafe

毎月 1 回 10:00～12:00

開けた回数 来た人

9回 68人（のべ）

スタッフ 4名（高校生、地域のおばあちゃん、おじいちゃん）

今年度から地域のおばあちゃんおじいちゃんがほっとできる場所をつくりたいなと思い、Wacafeをサロンとして再開しました。当初は5名～7名と人数も少なかったのですが、昨年12月からは10名を超える時が増えてきました。チラシ配布を毎月行っていますが、それだけでなく参加者の方からの口コミなども影響しているのではないかと考えています。嬉しいことに年度末にはスタッフが作詞、それを近所の知り合いの方に作曲してもらい、『サロンの歌』が誕生しました。これからも、毎月続けていきたいと思えます。（文責：なおえもん（西村））



# さかっこクラブ

# 放課後児童クラブ

登録人数

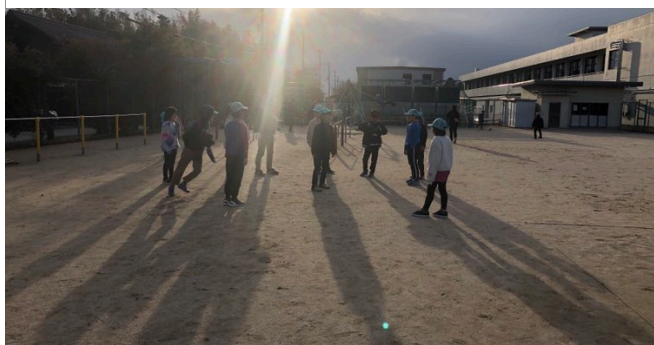
年間**76**人 長期**67**人 合計**143**人

スタッフ

**11**人（長期**16**人）

日数

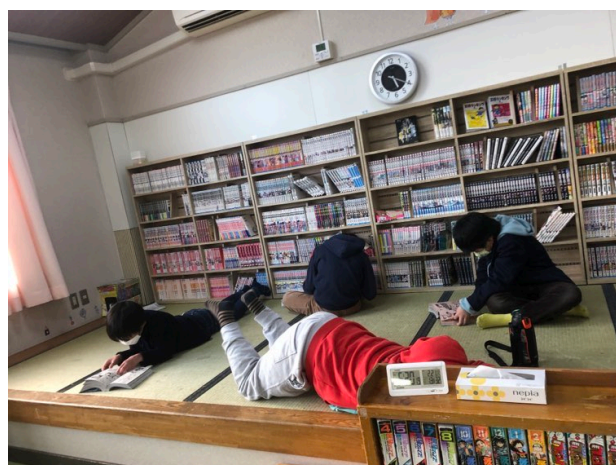
**292**日



## さかっこクラブ（米原市からの委託料を活用）

給料手当 (正社員3名、パート職員8名、短期パート職員数名)	24,095,416円
法定福利費（正社員3名）	1,697,966円
通勤費（全職員）	845,980円
謝金（子供向け企画講師代）	180,000円
保険料（スタッフ用スポーツ保険）	61,010円
交際費・福利厚生費（スタッフ用）	202,247円
交通費（子ども向け企画移動費）	271,910円
通信費（携帯利用料1台分、郵送代）	265,550円
消耗品費（原材料費、医療費、施設備品、清掃用具、 子供用玩具、プリンターインク、新型コロナウイルス感染症対策用品など）	1,537,235円
光熱水費（専用施設管理費）	1,283,639円
リース料	912,780円
支払手数料（振込手数料、メーリングシステム使用料）	51,285円
広告宣伝費（スタッフ求人）	627,540円
その他（エアコンクリーニング代、研修テキスト代等）	281,435円
合 計	32,314,103円

さかっこクラブは6年目を迎えました。とうとう6年間通った子どもがクラブから始めて卒業を迎える年だ。これほど感慨深いことはない。当時、10人程度の小規模なクラブとして始まったさかっこは、今や80人を超える（夏休みは140人を超える）大所帯となった。5年間で様々な大きな変化があった。小学校の空き教室だったクラブの保育室は、人数が大きくなって施設規模が足りないからと、米原市が、新たに保育専用施設を建設してくれた。設計から関わり、室内の仕様や内装などの雰囲気まで、こだわられるだけこだわった。続いて、隣にあった別クラブの施設も管理するようになり、一気に大所帯へと変化していった。そんな激動の時代を経験しながら、6年間クラブに通い続けてくれている子ども達がいる。本当に感謝しかない。ありがとう。いろんな負担もかけたと思う。それでも、ボク達を信じて、最後まで来てくれた子ども達、そして保護者のみなさんに心から感謝したい。卒業に向けて、できれば、6年生と修学旅行みたいな「卒所旅行」という企画をしたいと思っている。恐らく、子ども達と代表スタッフ2名で1日旅行みたいになると思う。感謝の気持ちを込めて、楽しい思い出を一緒につくりたい。この6年目の1年間を、彼らと大切に過ごそうと思う。(文責：柳生のび)



# 若者との関わり

## 若者との関わり（クラファン寄付を活用）

印刷製本費（若者との関わり報告書）	9,836 円
交際費（若者の宿泊費用等）	44,446 円
通信費（郵便、携帯利用料）	※別表（P8）に記載
消耗品費（衣類）	20,642 円
光熱水費（シェルターハウス）	※別表（P8）に記載
家賃（シェルターハウス）	240,000 円
合 計	314,924 円

### ◇シェルターハウスの運営（利用者 学生1名）

昨年の夏ごろ、シェルターハウスを利用中の学生の保護者(父)と面会することができた。父親は仕事が忙しく、家にいることがあまりいないため、本人の現状を全く把握されておらず、わっかの存在自体も初耳で、わっかの関わりや、シェルターハウス利用に至った経緯などを全てお伝えした。父親からは家に戻らないかと学生本人に提案したが、本人が継続してシェルターハウスに住みたいと希望した。父親とは、その後、話し合いの上、学校を卒業するまでの期間設定と定期的にわっかで父と会うという条件の下、合意を得ることができた。しばらくはシェルターハウスに住み続けながら、父親と定期的に会って日常生活を送っていたが、精神的な面と体力的な面から通学が困難となり、最終的に退学という形を取るようになった。アルバイトは頑張っていたので、その繋がり新しい土地で就職が決まり、今春シェルターハウスを出て、一人暮らしを始められた。

### ◇若者の相談サポート

各事業で出会った若者の個別の相談対応や必要に応じた具体的なサポート等の実施。

相談受付数:20件(就職サポート 1件、引越サポート /受験サポート 0件、

生活サポート 2名(通年)、学習ササポート 2名(通年)、その他 15件)



## 事例紹介

### ◆通信制高校に通う高校生（継続支援）

発達特性も相まって、スケジュールを組むのが苦手なため、定期テスト前に学習内容、スケジュールの支援を行った。また、生活習慣が乱れやすい事から、午前はわかかの掃除、午後からは、さかっこクラブのバイトなどリズムが整う支援も継続して行っている。

### ◆他府県の中学生の受け入れについて（新規支援）

母子家庭の母親から、小学高学年の頃から不登校になりフリースクールに通う中学生のお子さんの生活習慣について相談があり、月1回（1回1週間程度）ボランティアとして、さかっこクラブ及びスタッフ宅で宿泊受入を行った。母子ともに継続して家庭の生活相談支援を行っている。

## 講演・視察

回数 1回

9月： 大学生

『居場所づくり』に関心のある学生が視察にきてくれました。

同じ県内でこういった活動に関心のある方が来てくれました。なかなかコロナ禍ということもあり、視察や見学ありませんでした。それでも、SNSでの情報発信などを通じて私たちの活動の雰囲気や思いは発信していました。そういうものが、いつかどこかの場所で活動をする人たちの参考になればと願っています。子どもたちにとって、歩いていける範囲に自由に集える場所があればいいなと思います。

(文責:だいのすけ)



# 情報発信（フォロワー）

子ども、若者、古民家で集う人たちとのなんでもない日々を SNS で発信しています。発信を通じて、古民家にきてくれる人、活動を応援して下さる方がいます。（2023 年 5 月 1 日現在）括弧内は昨年度

facebook

Twitter

Instagram

**1,139**人(1,069人)

**199**人(179人)

**150**人(108人)

## わかへのご寄付

わかへは、NPO 法人化とともに活動資金を寄付で賄うことを目指して、寄付での活動資金確保にむけて動いております。みなさまのおかげで、古民家開放にかかる事業費の約 50%を寄付で確保できるまでになりました。ただ、足りない分は補助金・助成金によって補填している状況です。引き続き活動を応援していただく方と出会うため、古民家をあげ、そこでの日々を発信していきます。

正会員

賛助会員

マンスリーサポーター

都度寄付

**16**人

**2**人

**25**人

**6**人

総金額 **691,036**円

支えてくださった企業・団体（敬称略）

<p>米原市</p> 	<p>独立行政法人 福祉医療機構</p> 	<p>タノシニア合同会社</p> 
<p>社会福祉法人 滋賀県社会福祉協議会</p> 	<p>社会福祉法人 米原市社会福祉協議会</p> 	<p>紙eco</p> 
<p>マコトヤ</p> 		











団体名	特定非営利活動法人 わっか
住所	〒521-0012 滋賀県米原市米原 178-5
電話	070-1803-1059 (代表)
メール	wacca235@gmail.com
ホームページ	<a href="https://npo-wacca.org">https://npo-wacca.org</a>
Facebook	 アカウント名 こどもと大人の居場所 わっか
Twitter	 アカウント名 @NpoWacca
Instagram	 アカウント名 @npo_wacca